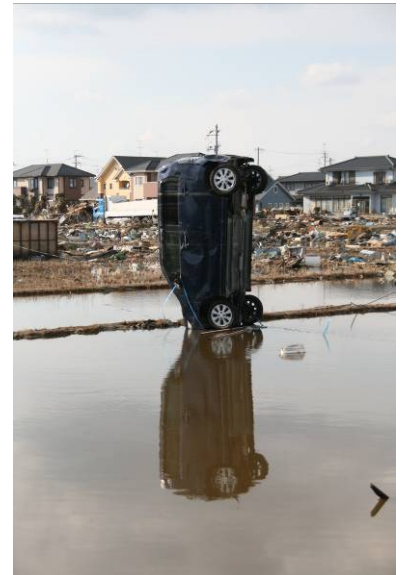


## 日常では見えるはずのない景色がそこには広がっていました



宮城県亙理町荒浜付近の景色。通常なら住宅地から海岸線は見えるはずはないのだが、津波は住宅を流し破壊しつくした。遠くには海岸線の砂防林が見える。(写真左上)

大きな町、住宅地、海沿いの集落、それぞれの被災地を巡るたびに津波の大きな爪痕の景色は異なるものの家屋を破壊し、車やそこに住む人の思い出までも流し去っていた。1軒の家には1家族の思い出がぎっしり詰まっていた筈。この景色が東日本の太平洋岸全てに及んでいると考えると、今回の震災の恐ろしさを窺い知ることができる。



岩沼市にある仙台空港。ここから沖縄へ北海道へ、そして海外へ多くの人が夢を乗せて飛び立っていた。この空港から飛行機が飛び立つとき、それは一つの復興を遂げたときだ。